

試料・情報の提供に関する情報公開について

当院では、下記の研究または調査等の意義に賛同し、当院で保管する試料や診療情報を提供しております。当院を含む多くの医療機関が協力することで、研究の質が向上し、今後の医療の発展につながることが期待されます。

対象者に該当する方で、試料・情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、外部への提供はしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究や調査等の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡ください。他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究調査等名称	AYA世代女性がん患者で、がん治療前に妊孕性温存療法に関して情報提供を受けた患者における卵巣機能評価に関する前向きコホート研究
研究調査等主体 (学会名等)	大阪急性期・総合医療センターを中心とした多機関共同研究
対象となる疾患名等	乳癌を含むAYA世代女性がん患者
情報の利用目的	化学療法や放射線治療などがん治療の内容によっては妊孕性に影響を与えるものがあり、がんサバイバーの中にはそのために不妊となる方がいらっしゃるということが明らかになっています。 日本人において患者さんの背景や治療内容と治療後の卵巣機能についての関連性を明らかにして、がん治療の卵巣に与える毒性に関するエビデンスの構築を目指すことが本研究の目的です。
提供するもの	☐ 試料（保存検体等） ☒ 情報（診療情報等）
提供するもの (詳細)	診断時年齢、癌種、 初診からがん治療開始までの日数、 手術の有無・種類、 放射線治療の有無・照射部位・照射量、 化学療法の有無（アルキル化剤の有無・薬剤名・薬剤量、アルキル化剤以外の抗がん剤の有無・薬剤名・薬剤量）、 分子標的治療の有無・薬剤名・薬剤量、 ホルモン治療の有無・薬剤名・薬剤量、 免疫チェックポイント阻害薬の有無・薬剤名・薬剤量、 造血幹細胞移植の有無・施術日・移植の種類

提供方法	インターネット上の専用システムに必要項目を入力します。
個人情報の保護	個人を特定できる情報を削除して識別番号を付した状態で取扱います。対象者個人と識別番号との対応表は院内で厳重に管理し、その照合は当院内のみ可能となります。また、個人を特定できる情報を外部に提供することはありません。
お問い合わせ	一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 電話 045-221-8181（代表） 内線2061 外科 麻賀 創太